

## “エラー切手” 珍品物語 ③



### 英国切手 1954年1月発行

#### エリザベス女王（ワイルディング・タイプ）普通切手

（解説）

三番目に紹介するエラー切手は、切手製造過程で一番多く発生しやすく、世界中の切手市場でも最も多く出回っているタイプの「エラー」品です。それは「目打（めうち）ズレ」したものです。上図右は「正規品」で左の切手は「上下の目打ちが3ミリ程度下へずれたもの」となっています。

「目打」とは印刷された切手と切手の間に開けられた小さな穴のことです。これにより誰でも切手シートの中から簡単に一枚の切手を切り分けることができます。イギリスで世界最初に発行された1840年の切手は目打がなく、ハサミやカッターナイフで切り分けていましたが、1854年発行の切手以降は目打がつけられるようになりました。

エリザベス2世女王は1952年2月6日に即位しました。即位後10ヶ月目に女王の切手が発行されましたが、従来の「横顔」切手とは違い、Mr. Wilding氏が撮影したエリザベス2世女王のポートレートを使った切手となり、ワイルディング・シリーズと呼ばれています。2022年9月8日に逝去されましたが70年7ヶ月の在位期間に発行されたエリザベス女王の描かれた切手に世界の人々が深い愛着を持ち、永く、永く記憶に残るものです。

（著者） 北岡 英希